

令和5年度栃木県立馬頭高等学校 第4回学校運営協議会（司会：教頭 議事録：田中）

I 日 時 令和6年2月19日（月） 14：30～16：10

II 場 所 馬頭高校会議室

III 参加者 委員10名出席（欠席3名）

県教委 3名

馬頭高校職員10名出席

那珂川町職1名傍聴

報道関係者1名 以上 総数25名

【議事録】

1 開会 教頭

2 若園会長あいさつ

・いろいろなご意見、ご質問をいただきたい。宇大の受検状況も悪くない様子である。

3 小島校長あいさつ

- ・前回の運営協議会開催翌日、強歩大会実施。新たな形態だったが、生徒自らが作り上げるよい大会となった。
- ・ロータリークラブの表彰で2名が受賞させていただいた。
- ・次年度は2学級となることが決定。
- ・馬頭高校が様々なメディアに取り上げられた。中学校訪問や広報活動、生徒の活躍などにより、特色選抜や中学生の希望状況は良好といえる。

【若園会長】 広報活動の実際の状況は？

【校長】 中学校は25校訪問し、その他、進学説明会に参加した。今週末は県総合文化センターにおいて栃木県150周年未来デザイン事業が開催され、それにも参加する予定である。

【塩澤委員】 学校活動のスケジュール表が公表されているとよいのではないか。

【校長】 ホームページに2か月間隔で予定表を掲載している。

4 学校より

(1) 令和6年度学校運営方針（案）について（資料1）校長より説明

[主な変更点] V学校経営上の留意点 1校務運営全般（4）と（6）について追加、（8）について一部修正等、VI重点目標及び具体的な取り組みについて新たな項目を加え、より一層の充実を図る取り組みを掲げる。

【若園会長】 今回は案で、来年度第1回のときに審議でよろしいか。

【事務局】 その通りです。

【益子明委員】 6地域連携について、交流会を何度も実施しているので町議会との連携も加えてほしい。

【校長】 加筆させていただく

(2) 各種活動報告

- ①水産科佐々木による報告「那珂川町の清流が消滅の危機」
- ②農業科平石による報告「栽培だけが農業じゃない」

(3) 地域連携活動

- ①地域連携活動一覧：地域連携係小高より報告

[追加・訂正]

- 1) 水産科関連行事 「7/29 ネイチャークラブ活動スタッフとして参加」は那珂川町役場の協力
- 2) ボランティア・アウトドア他行事 「11/2 高校生町議会との意見交換会」
那珂川町議会 を追加

- ②地域活動発表会開催のご案内：地域連携係小高より

3月18日(月)馬頭高校にて発表会を開催。案内状を配布。

(4) 令和5年度進路状況報告：教頭

進路に関して、進学者・就職者全員が希望する進路先を決定できた。特に就職における那珂川町役場への就職内定、進学における国立大学(岩手大学)を含め、3名の4年制大学合格は大きな成果。

【若園会長】帝京大学は何学部か。

【教頭】一般入試によって、理工学部合格した。

(5) 学校評価について：馬籠主幹による報告

【若園会長】評価は数値目標を設定し、行ったものなのか。

【主幹】それぞれ担当各部において、評価項目を細分化して評価している。数値化しているものと、数値化できない評価もある。

【益子明委員】例えば教育相談については、aという評価に対して外部はどのように理解してくべきか。

【校長】評価のまとめ形式の中でスペースの問題と数値化しにくい教育活動もあり、各係において達成状況から評価している。

【若園会長】実際に外部がどう評価していくかは難しい。別の場で評価の過程のより詳細を示すこともあってもよいかもしれない。

【馬籠主幹】資料7-3が外部のご意見を集約する一つとなるので是非ご意見を頂戴したい。

(6) 学校の様子：教頭より報告

(7) その他 特になし。

5 その他 事務連絡 来年度の予定・役員について

6 閉会